

鹿ノ台川柳教室 十一月度句会

十一月二十日(月) 西集会所

席題 「逃げる」

笹倉良一選

借金取り逃げる貧乏追いかける

宏 樹

はや師走手からお金がにげてゆく

登 美

逃げ回り捕まえる頃共白髪

乃り子

下界から独り逃れて山歩く

広 子

悪いくせ嫌なことから逃げ惑う

勝 利

逃げたいよ病ばかりで葉づけ

えいじ

相撲界逃げるが勝の理事長や

幸 男

ミサイル発射どこへ逃げればよいものか

アキラ

肝心なときに限って見えぬ顔

千 楽

突然の指名に足が出口向く

よう子

逃げ水の記憶野生に回帰する

正 清

⑤ 逃げ水の二十歳の夢を今も追う

英 二

⑥ 故郷を捨てて初秋の駅に立つ

良 一

宿題 「雨」(連記)

前田幸男選

にわか雨相合傘で愛を告げ

アキラ

雨も好き晴天も好きタフな人

えいじ

核兵器黒い怨みの雨が降る

正 清

雨降ればコンビニあると傘持たず

英 二

ふたりなら濡れて楽しい不意の雨

勝 利

音たてて泣く雨愛し髪をとく

広 子

雨の日は雨を聞くしかない独り

良 一

八代亜紀アメアメ降れと言わないで

乃り子

大雨はグニヤリ曲げます線路でも

千 楽

雨上がり暇そな顔の照る坊主

よし尚

長雨で忘れた痛み疼き出す

哲 子

雨男ゴルフ仲間にと下座する

宏 樹

雨音に消したい愚痴を溜めている

よう子

すれ違いかしげた傘の思いやり

登 美

⑦ 真つ更のレインシューズにやつと雨

義 雄

⑧ 斎場は雨天決行予約済み

幸 男

宿題 自由吟(共選)

澤山よう子選

ニユース氾濫真実は霞んでる

千 楽

幸開く運慶仏が生き生きと

宏 樹

探偵社不倫の調査倍が増え

幸 男

昨日今日会話したのは宅配便

乃り子

真実は土俵の外の藪のなか

哲 子

機織りの明治の宝製糸場

登 美

身辺整理見事済ませた冬木立

アキラ

晩学は雑学ばかり虹の橋

勝 利

隣人も土も知らないマンションっ子  
逢いたい気持転がしている舌の上  
ほどほどに実る希望の自尊心  
過労死をさせて築いた砂の城  
⑥ 涙目をあぶり出してるエピソード  
⑦ 酷暑耐え木々の紅葉陽に映える

乃り子  
広子  
正清  
勝利  
正清  
よう子

宿題 自由吟（共選）

橋

昨日今日会話したのは宅配便  
二ユース氾濫真実は霞んでる  
晩学は雑学ばかり虹の橋  
良しとするおかずに文句言わぬ人  
逢いたい気持転がしている舌の上  
目玉焼食べるの惜しい今朝の出来  
言葉では満たされぬ時猫を抱く  
真実は土俵の外の藪のなか  
一日の留守番メモが指図する  
逝きし友夢の中では生き返る  
身辺整理見事済ませた冬木立  
隣人も土も知らないマンションっ子  
国宝展値札があれば更に良し  
⑧ 過労死をさせて築いた砂の城  
⑨ 涙目をあぶり出してるエピソード

正清選  
乃り子  
千楽  
勝利  
広子  
広子  
英二  
義雄  
哲子  
よう子  
登美  
アキラ  
乃り子  
英二  
勝利  
正清

宿題 お題「遊ぶ」（互選）

② ブランコが遊んでほしいせがんでる  
羨ましい脇目もふらず遊ぶ犬  
ツイッター遊ぶ心で死を望む  
③ 老い二人紅葉に遊びカニの宿  
遊ぶこと誰より好きなタフな人  
締め過ぎず遊びも活かす人使い  
④ 人さまの倍働いて倍遊ぶ  
最後まで昭和を生きた遊び人  
定年後遊び相手に昇格す  
遊びだと分かる二人が親になる  
ブランコと揺れる涙が涸れるまで  
天才の遊び心に嫉妬する  
⑤ 逝きし友訪ねて遊ぶ夢の中  
⑥ 花籠に一輪ころ遊ばせる  
仕事より遊び疲れたパパが好き  
⑦ ピンチにも遊び心が身を守る  
火遊びをして生き様に箔が付く  
⑧ 夕焼けの似合う子供を見なくなる  
⑨ ハンドルの遊びに学ぶ人の道

乃り子  
英二  
幸男  
アキラ  
えいじ  
義雄  
広子  
哲子  
広子  
義雄  
良一  
勝利  
登美  
よう子  
勝利  
哲子  
正清  
よう子  
アキラ

\*新しい試み・席題は「逃げる」。選を良一さんにお願ひする。皆さん、短時間にユニークな句が出来たようだ。

前回初めて参加した幸男さんに連記の選をお願ひした。短歌、俳句ともOKの人らしくspeedyな処理。八代亜紀、濡れて楽しい、ゴルフ仲間に土下座…と幅広い内容に。

北三のお二人が見学。笑えたけど難しそう、という感想だった。

席題の選とともに、もう一つ初めて。互選の部で句を模造紙に書き出す作業に宏樹さんが加わった。頼もしいことだ。(千)\*

**次回十二月十八日、十三時から、西集会所。**

宿題のお題、「宝くじ」、「優しい」、「自由吟」。各二句。

\*「宝くじ」は連記で一枚の短冊に二句とも書く。

\*「自由吟」は選者二人の共選、二部提出のこと。

当日席題あり。十二時三十分「お題」発表、

出句は、宿題十三時、席題十三時十五分。

#### 問合せ

五十嵐修 (79・0751)、原広子 (79・0061)